



財南っ子



「創造性に富み 主体的で思いやりがあり 心身ともにたくましく生きる児童の育成」

3月に入り、今の学年で過ごすのもあとわずかとなりました。学年のまとめの時期にもなります。ご家庭でもお子さんへの励ましや言葉かけをお願いします。

社会の「いろいろ」子に影響



先日の宮日新聞の記事から紹介します。夜回り先生をされていた、水谷修さんのお話です。（一部省略しています）

私は、今や日本の子どもたちの3割は、何らかの問題を抱えていると考えています。その最も大きな原因は、私たち大人、そして現在のいろいろした社会状況にあると、私は考えています。皆さんの家庭では、この1年間、温かい、優しい、思いやりのある言葉と、ひどい、きつい、思いやりを忘れた言葉、どちらが多かったですか。

社会全体のいろいろが、社会で最も弱い立場の子どもたちに集約されています。そして、家庭でも学校でも、認められるより否定され、褒められるより叱られ続けた子どもたちが、大きな問題を大人に突きつけています。

元気のいい子は、ふてくされ、親も先生も自分のことなんてどうでもいいんだと、夜の世界に。何とか、日々耐え続けた子どもの一部は、自分のいろいろを、仲間をいじめることによって解消しようとしています。また、一部の子どもは耐えきれずに心を閉ざし、不登校や引きこもりに。そして、まじめで繊細な子どもは、心を病みリストカットや自死へと向かっています。これと同じことは大人の世界でも生じています。

かつて先人は、「子どもは十褒めて、一叱れ」と言いました。まずは、許し認めることから初めて、人間関係をきちんと確立し、その上で問題と感ずるところを直していけという意味です。これを今の親たちや大人は忘れていきます。

お願いします。子どもたちにたくさんの優しい言葉をかけてあげてください。たくさん、認めてあげてください。そして、子どもたち自身に、自分がかけがえのない大切な存在であるという自己肯定感をもたせてあげてください。

それぞれの立場で、考え、子どもと一緒に同じ方向を向いて歩いていくことが、導いていくことが大切です。これからも学校と家庭、地域で見守り続けていきましょう。

本年度最後の参観日

2回に分けて、参観日を行いました。これまでの学習の成果を発表したり、感謝の言葉を述べたり、将来の夢を発表したり、様々でした。子どもたちは、みな一生懸命がんばっていました。多くの保護者の方に来ていただき、ありがとうございました。ただ、授業参観に比べると、懇談の参加者が少なく、少し残念でした。今後は、学校としても魅力ある懇談会になるよう工夫していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い



3月の行事予定

日（曜）	主な学校行事等
4日（月）	図書返却（～8日）
8日（金）	お別れフェスティバル
11日（月）	教育相談
14日（木）	卒業式予行練習
25日（火）	卒業式
26日（火）	修了式、大掃除（給食なし）
29日（金）	離任式



